

この中の写真や紹介は、各出版社の著作権の使用許諾に基づいて掲載しております。2次転載等をご遠慮ください。

## イエナカあそび№35

# TOKO/バズいBOOK!

テーマ「こんなときだからこそ声に出して読みたい! 笑いたい!」

実際に児童センターのおはなし会で反響のあった絵本を紹介します。



### 「バナナじけん」<sup>たかはた</sup>高<sup>なお</sup>島那生 作/BL出版

くるまから バナナが ひとつ おちました。  
そこへ さるが きて、バナナを はっけん!  
どうなると おもう?

登場人(?)物のおもしろい絵やリズムカルなことばの応酬!  
声に出して読んでみると、なぜか息が切れます(笑)  
こどものみならず、保護者の方からも  
「さっきの絵本買いたいの、もう一度題名と作者を教えてください」と  
必ず訊かれる大人もトリコにしちゃう絵本でもあります。

### 「どこいったん」 ジョン・クラッセン 作

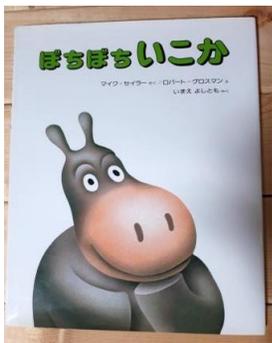
<sup>はせがわ</sup>長<sup>よしふみ</sup>谷川義史 訳 /クレヨンハウス

くまが だいじな あかい ぼうしを さがしています。  
ぼくの ぼうし どこ いったん?

訳者の長谷川義史さんは大阪出身、コテコテの関西弁満載の訳になっております。  
ネイティブ関西人の職員はノリノリで読みます。  
「志村～! うしろうしろ～」のノリで子どもたちはシンプルに楽しめます。  
最後まで読んだあと、たまあに年長(高学年)児や大人が、「おおお...(言葉にならない)」となります。  
なぜそうなるのか、どんなお話かは実際に読んでみてのお楽しみ。  
読み終わった直後に、もう1度読み直してほしいと頼まれる絵本です。  
実はこのシリーズ 数冊続いているのですが、個人的にはやはり1冊目の「どこいったん」がおススメです。



### 「ぼちぼちいこか」 マイク＝セイラー 作/ ロバート＝グロスマン 絵 いまえ よしとも 訳 / 偕成社



おおきくて おもい のんびりかばくんが  
いろいろな 職業に チャレンジ! うまく いくの? いかないの?

またまた、訳者の今江祥智さんは大阪出身の方で、ネイティブ関西弁の訳文になっております。  
やわらかくて耳なじみのある関西弁の響きと、カラフルな画面、ユーモラスさ、  
小学生も1ページめくるごとに毎回笑って聞いてくれる絵本。  
しかも最後まで読んでみると、おもしろいだけでは終わらない、人生も考え直しちゃう絵本です。  
決して文字数は多くありませんが、読みごたえがあります。

実は、今回ご紹介したどの本も(職員が)作者や訳者が好きでたどり着いた絵本で、  
雑誌の特集や本屋さんなどでおススメされていた本というわけではありません。  
ハマった絵本はまだ1冊しかない、他のオススメ絵本はないかしらというときは、同じ作者・訳者で探してみるという方法もあります。  
この記事を含め(笑)どこかでオススメされている本がすべての方に当てはまるとは限りません。  
あなたのご家庭でハマる傾向をつかんでみるのも本を探す楽しみの一つになるかもしれませんね。

児童センターは、1日でも早く子どもたちの日常が取り戻せることを心から願っております。  
今日も良い1日でありますように。